

循環器病対策の取組について

令和5年2月8日（水）

長野県循環器病対策推進計画 概要

策定の趣旨

循環器病（脳卒中、心臓病その他の循環器病）が、死亡原因や介護原因の主要なものとなっていることに鑑み、循環器病対策基本法※（以下、「基本法」）に基づく「長野県循環器病対策推進計画」を策定し、本県の実情に応じた総合的な循環器病対策を推進する。

※健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法（平成30年法律第105号）

位置付け

基本法第11条第1項に基づく法定計画で、国の循環器病対策推進基本計画を基本とし、第2期信州保健医療総合計画や第8期長野県高齢者プラン等の関連計画との整合・調和を図り、本県における循環器病対策の基本的な方向性を示すもの。

	R3年度	R4年度	R5年度
長野県循環器病対策推進計画		R4年度～R5年度	
第2期信州保健医療総合計画	H30年度～R5年度		
第8期長野県高齢者プラン	R3年度～R5年度		
傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準	H23年1月～		

計画期間

令和4年度（2022年度）から令和5年度（2023年度）までの2年間

推進体制・役割

「長野県循環器病対策推進協議会」を中心に、着実に計画を推進。

循環器病対策の推進に向けた、「県民一人ひとりの役割」を明記。

1. 地方公共団体（県、市町村）
2. 保健・医療または福祉の業務に従事する者
（医療・介護施設、薬局、その従事者等）
3. 医療保険者
4. 県民

評価及び見直し

長野県循環器病対策推進協議会において、計画の目標や進捗状況について評価を実施。
また、次期信州保健医療総合計画等との整合を図るため、2年間で見直しを行う。

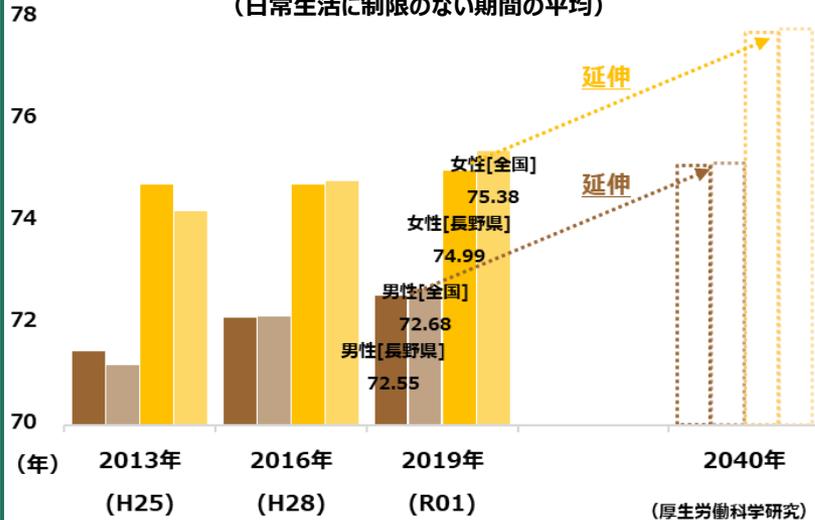
循環器病対策の歩み

昭和40年頃の脳梗塞などの脳血管疾患による死亡率は全国トップであったが、住民・健康ボランティア（保健補導員、食生活改善推進員）と市町村や保健所等の行政が連携した活動、医療機関による活発な地域医療活動、健康づくりに取り組む県民運動である信州ACEプロジェクトなど、地域住民や関係機関が一体となった地域保健活動の積み重ねが、現在の長寿県へとつながっている。

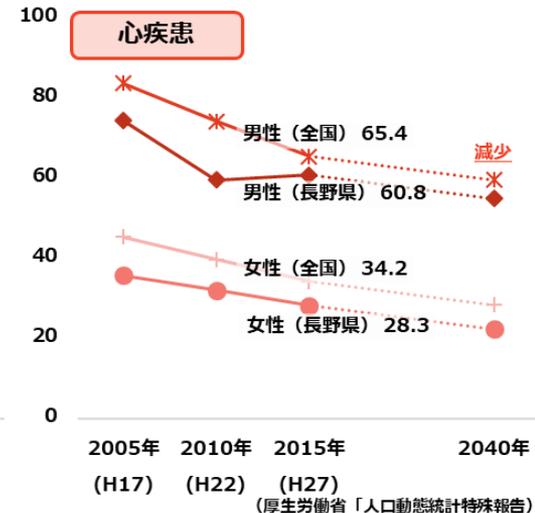
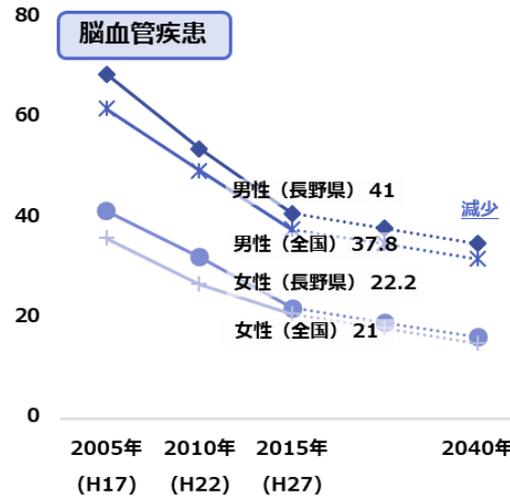
長野県循環器病対策推進計画 概要

全体目標：「健康寿命の延伸」「循環器病の年齢調整死亡率の減少」

健康寿命
(日常生活に制限のない期間の平均)



年齢調整死亡率 (人口10万対)



(参考) 国の基本計画における全体目標：2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少

施策の展開

1. 循環器病予防の取組の推進

1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発
 - ▶ 循環器病とその特徴に関する知識の普及啓発
 - ▶ 発症・重症化予防に関する十分かつ的確な情報提供
2. 循環器病を予防する健診の普及や取組の強化
 - ▶ 健診受診につながる普及啓発の強化と効果的な実施方策等の検討
 - ▶ 健診結果から早期診断・治療介入に資する取組を推進

2. 医療提供体制の整備

1. 救急搬送体制の整備
 - ▶ MC体制の充実・強化、適切な初期対応の普及啓発
2. 医療提供体制の構築 (急性期から回復期及び維持期)
 - ▶ 病期に応じた医療・リハビリテーション提供体制の整備
3. 循環器病の緩和ケア
 - ▶ 緩和ケアの認知度向上、人生会議 (ACP) の普及
4. 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策
 - ▶ 小児疾患の早期発見、移行期医療支援体制の構築

3. 多職種連携による循環器病対策・循環器病の患者支援

1. 社会連携に基づく循環器病対策
 - ▶ 地域連携クリティカルパスの普及、医療と介護の連携推進
2. 循環器病の後遺症を有する者に対する支援
 - ▶ 後遺症に対する社会的理解促進に資する取組を推進
3. 治療と仕事の両立支援・就労支援
 - ▶ 企業等に対する両立支援の普及、就労支援体制の検討
4. 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援
 - ▶ 科学的根拠に基づく情報をわかりやすく提供

4. 循環器病対策を推進するために必要な基盤の整備

1. 循環器病の研究推進 ▶ 国で進める公的枠組みへの協力とデータの活用方法を検討

令和4年度関連事業（長野県循環器病対策推進計画）

第1節 循環器病予防の取組の推進

1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

- 信州ACE(エース)プロジェクト普及・発信事業【健康増進課】
- ライフステージ別課題に応じた生活習慣改善実践事業【健康増進課】
- 健康増進計画推進事業【健康増進課】
- 地域保健関係職員研修事業【健康増進課】
- 働き盛りの健康づくり支援事業【健康増進課】
- 健康に配慮した食環境整備事業【健康増進課】
- 信州の食を育む実践事業【健康増進課】
- たばこ対策推進事業【健康増進課】
- オーラルフレイル総合対策事業【健康増進課】
- 医科歯科連携研修事業【健康増進課】
- 地域歯科口腔保健関係者研修事業【健康増進課】

2. 循環器病を予防する健診の普及や取組の強化

- 健診受診普及啓発事業【健康増進課】
- 長野県医療費適正化推進事業【健康増進課】
- 国民健康保険市町村支援事業【健康増進課】
- フレイル予防総合推進事業【健康増進課】
- 介護予防等推進研修事業【介護支援課】

第3節 多職種連携による循環器病対策・循環器病の患者支援

1. 社会連携に基づく循環器病対策

- 訪問看護支援事業【医師・人材確保対策課】
- 地域包括ケア構築推進事業【介護支援課】(再)
- 住民主体の通いの場等推進支援事業【介護支援課】
- 新 循環器病対策推進事業【保健・疾病対策課】

2. 循環器病の後遺症を有する者に対する支援

- てんかん支援拠点病院事業【保健・疾病対策課】
- 高次脳機能障害者総合支援事業【障がい者支援課】
- 失語症者向け意思疎通支援事業【障がい者支援課】

3. 治療と仕事の両立支援・就労支援

- 多様な働き方普及促進事業【労働雇用課】
- 新 循環器病対策推進事業【保健・疾病対策課】

4. 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援

- 広域災害・救急医療情報システム運営事業【医療政策課】

第2節 医療提供体制の整備

1. 救急搬送体制の整備

- 長野県メディカルコントロール協議会【医療政策課】
- 新 循環器病対策推進事業【保健・疾病対策課】

2. 医療提供体制の構築（急性期から回復期及び維持期）

- 三次医療圏・脆弱二次医療圏体制強化事業【医療政策課】
- 救命救急センター運営費補助事業【医療政策課】
- 救命救急センター施設整備事業【医療政策課】
- 救命救急センター設備整備事業【医療政策課】
- 病院群輪番制病院施設整備事業【医療政策課】
- 病院群輪番制病院設備整備事業【医療政策課】
- 信州医師確保総合支援センター事業【医師・看護人材確保対策課】
- ドクターバンク事業【医師・看護人材確保対策課】
- 長野県地域医療対策協議会【医師・看護人材確保対策課】
- 医師研究資金貸与事業【医師・看護人材確保対策課】
- 医学生修学資金等貸与事業【医師・看護人材確保対策課】
- 地域医療人材拠点病院支援事業【医師・看護人材確保対策課】
- 病床機能転換に係る看護体制強化事業【医師・看護人材確保対策課】
- 地域包括ケア構築推進事業【介護支援課】
- 医薬品適正使用・環境整備事業【薬事管理課】
- 新 循環器病対策推進事業【保健・疾病対策課】

3. 循環器病の緩和ケア

- 在宅医療人材育成基盤整備事業【医療政策課】
- 新 循環器病対策推進事業【保健・疾病対策課】

4. 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

- 移行期医療支援体制整備事業【保健・疾病対策課】
- 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業【保健・疾病対策課】
- 医療的ケア児等支援体制整備事業【障がい者支援課】
- 児童・生徒心臓検診事業【保健厚生課】
- 児童生徒心臓検診心電図再判読事業【保健厚生課】
- 学校生活管理指導票による心臓疾患児童生徒の管理【保健厚生課】
- 学校心臓検診検討委員会による心臓検診結果の解析【保健厚生課】

第4節 循環器病対策を推進するために必要な基盤の整備

1. 循環器病の研究推進（公的枠組みへの協力、データの利活用）

- 新 循環器病対策推進事業 … 総合的な循環器病対策を推進するため、保健・疾病対策課において以下の分野で新たな取組を検討・実施予定。
 - 循環器病の初期症状・適切な初期対応
 - 循環器病の緩和ケア
 - 地域医療連携(地域連携バス等)
 - 治療と仕事の両立支援

健康寿命の延伸

循環器病の年齢調整死亡率の減少

信州ACEプロジェクト普及・発信事業

健康づくりに関心が低い若者～働き盛り世代をはじめとしたより多くの県民が、健康づくりの重要性に気づき、積極的に行動に移してもらえるよう、各種メディアを活用した効果的な普及発信を業務委託にて実施

1 「働き盛り世代の『健康づくりチャレンジ大作戦』グランプリ2022」関連業務

スマートフォンアプリを活用した事業所対抗型グランプリ（令和4年9月～11月）

2 健康経営セミナーの開催

オンライン開催（令和4年7月28日、令和4年8月2日）

3 「#マイACE投稿キャンペーン」

自身の健康づくりに関する取組等をTwitterに投稿してもらうことで、賞品が当選する県民発信型のキャンペーン（令和4年10月）



健康づくりチャレンジグランプリ表彰式



正しい歩き方講習会



ベジチェック@イオンモール松本店



ベジチェック@長野県庁

令和4年度 特定健診受診普及啓発事業 “まいとし健診”

循環器病の予防を念頭に、働き盛り世代とその家族を中心とした特定健康診査の受診率向上と、若い世代の意識啓発に資する普及啓発事業 “まいとし健診” としてPR実施中

WEB広告・CM

長野県民の **6割** が 特定健診を受けてます。

体重計に乗るのが怖くなった

まいとし 健診

ポスター

大切な自分のカラダのために “まいとし” 健診を受けることが大切

自分のカラダの変化を知ることから

特定健診って知ってますか？
40歳以上75歳未満のすべての被保険者・被扶養者を対象に特定健診・特定保健指導が実施されます。メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予防と改善が大きな目的です。

思い当たることはありませんか？

長野県健康福祉部健康増進課

リーフレット

20歳以上の県民、**メタボも5人に1人が予備群!**

約23%の方がメタボ疑い

20歳以上の県民、**2人に1人が高血圧**

約55%の方が高血圧症

食事に「減塩」を取り入れ、**自分脳血管を守る!**

全国に比べて高い、脳血管疾患

特設サイト <https://maitoshi-kenshin.com/>

令和4年度 特定健診受診普及啓発事業 “まいとし健診”

TV三番組 「グルッと信州！」(abn長野朝日放送)

- ◆ 第1回：まいとし健診でメタボ対策 (令和4年10月)
- ◆ 第2回：まいとし健診で高血圧対策 (令和4年11月)



特定健診って知っていますか?
40歳以上75歳未満のすべての被保険者・被扶養者全員を対象に「特定健診・特定保健指導」が実施されます。メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予防と改善が大きな目的です。

20歳以上の県民、5人に1人がメタボと予備群!

早めの気づきで、生活習慣病の重症化を予防します

まいとし健診受けましょう

根本賢一先生がコツを伝授
運動はイベント化せず継続してこそ吉

根本先生おすすめ「ながら運動」

歩く姿勢をチェックしてみよう!

ながらスクワット

ながら足踏み

ながら足バカ

信州ACEプロジェクト

健診で健康状態をチェック

「運動のコツ」の記事をDO!SULに掲載(R4.10)

健康寿命を伸ばすために
長野県民の平均寿命は男女とも全国トップクラスだが、脳卒中で亡くなる人の割合は全国平均より高い状況です。この背景には高血圧やその予備群の方が多いことがあげられます。高血圧の原因の一つに塩分の摂り過ぎがあります。県民1人1日当たりの食塩摂取量の平均値は男性11.3g、女性9.9g、ともに全国平均を上回ります。健康寿命を伸ばすためにも、1日の食塩摂取量を8g以下に抑えましょう。

減塩のコツ

- だしをきかせる**
- 香味野菜 香辛料を利用**
- 酸味を利用**
- 減塩調味料も活用**
- 塩分の多い食品を控える**
- 減塩食品を利用**
- スープを残す**

減塩チェックシートも便利!

減塩調味料も便利!

減塩食品も便利!

減塩スプーンも便利!

減塩調味料も便利!

減塩スプーンも便利!

減塩調味料も便利!

減塩スプーンも便利!

「減塩のコツ」の記事をMGプレスに掲載(R4.10)

広報誌・新聞



イメージキャラクター「ゆるしおちゃん」

令和3年度に引き続き、減塩キャンペーン「ゆるしお」を展開！

ネガティブなイメージのある減塩のハードルを下げ、ゆるく減塩に取り組む「ゆるしお」を呼びかけています。

「ゆるしお」特設サイト

令和3年10月に特設サイトを開設し、世代毎に減塩情報を提供。

健康と塩分って関係あるの？

塩分をとりすぎるとどうなる？
減塩が必要な理由



今のうちから予防しよう！
若者世代

あなたの食事は大丈夫？
働き盛り世代

健康長寿のために！
シニア世代

ポスター



リーフレット



ゆるしおとは？

減塩はどんなイメージですか？
「物足りない」「続かない」「手間がかかる」…
「ゆるしお」は、そんな多くの人の
お悩みを解消するために
“おいしくゆる〜い減塩”を提案しています。



「ゆるしお」おすすめレシピ

うま味やだしをきかせて、減塩とは思えない！
“ゆるしおレシピ”公開中！気になるレシピはダウンロードから



歯科口腔保健

『お口と全身の健康づくりの情報発信』

- ◆ 令和4年度から健康づくりと親和性を重視した施策の推進のため、歯科口腔保健業務を保健・疾病対策課から健康増進課へ移管。
- ◆ 歯科医師・歯科衛生士を1名ずつ配置し、長野県歯科口腔保健推進センターを中心に施策を推進

地域歯科口腔保健関係者研修事業

- 地域の関係者を対象とした研修会を開催し、「お口の健康推進員」を育成・認定
(8圏域13か所、現在実施中)

オーラルフレイル総合対策事業

- 多職種からなる「オーラルフレイル対策タスクフォース」を設置し、普及啓発、運動・栄養等を一体化した予防活動・相談窓口等の整備の3要素について検討を進めている。

第1回 (R4.7.7) 第2回 (R4.9.16) 第3回 (R5.3.1 (予定))



世界脳卒中デー（10月29日）

世界脳卒中機構（WSO）が定めた「世界脳卒中デー」に合わせ、

（公社）日本脳卒中協会長野県支部と「生活習慣の改善」「脳卒中の5大症状」等について発信

ライトアップ企画

松本城



伊那中央病院



長野市民病院



WEB広告



知っていますか？脳卒中の5大症状

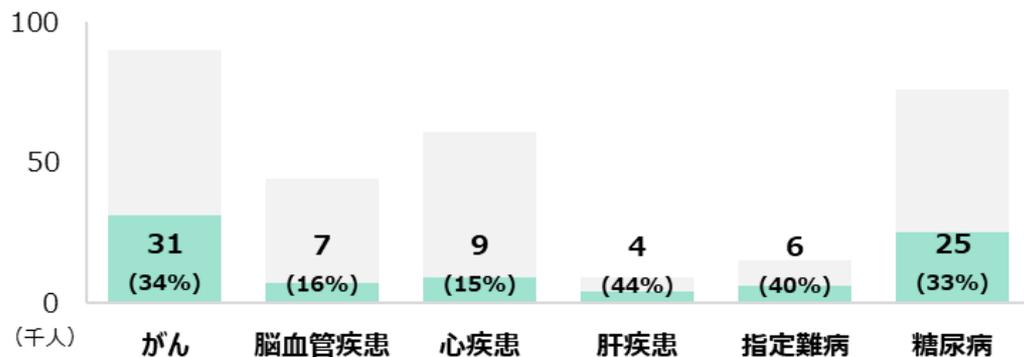
脳卒中の5大症状



治療と仕事の両立支援

現状認識等

■ 総患者数に占める就労世代※（主な疾病別）



※令和2年患者調査(15~64歳)、指定難病：保健・疾病対策課調べ(R4.11現在、18~59歳)

約2割~4割が、
就労世代にあたる

企業側では、

中小企業で取組が進まない、対象者がいない限り取組まない、どう取組めばよいかかわからない

患者側では、

相談先がわからない、相談せずに仕事をやめてしまう

両立支援の発端は、
患者本人からの申出

長野産業保健総合支援センターとの連携した取組の推進

- 産保センターで開催する研修・セミナーの周知に協力（県ホームページを新設）。今後、共催も検討中。
- 一般社団法人長野県経営者協会「長野県経営大学」において、両立支援促進員による講演会を実施。
- 相談窓口を周知する名刺サイズのカードを作成中。

長野県薬剤師会の協力により、県内薬局で配布予定。



配布いただける場所を
募集しています。

調査背景

＜長野県循環器病対策推進計画＞

急性期から回復期及び維持期まで多職種が連携し一貫した医療等が提供されるよう、（中略）地域連携クリティカルパスの導入状況・課題把握に努め、効果的な活用方法について検討を行います。

調査概要

脳卒中

- 調査名 : 「**脳卒中の地域医療連携体制に関する実態調査**」
実施主体 : 長野県（※専門家に相談の上、実施）
調査発送 : 令和4年8月
調査対象 : 県内23病院（（一社）日本脳卒中学会認定 一次脳卒中センター、県立木曽病院）
調査内容 : 回復期・維持期施設との連携状況、パスの導入状況、退院患者の再発予防の取組・課題 等

心疾患

- 調査名 : 「**長野県内の心不全診療における病診連携・医療介護連携に関するアンケート調査**」
実施主体 : （一社）日本循環器協会長野県支部、長野県（共同実施）
調査発送 : 令和5年1月
調査対象 : 県内26病院の循環器内科等に勤務する医師（（一社）日本循環器学会JROAD参加施設）
調査内容 : 紹介時の心不全ステージ分類、パス・心不全手帳の導入状況、不足する医療資源 等

調査結果

- 年度内に取りまとめる予定。専門家に助言をいただき、令和5年度以降の取組を検討。
- 医療分野ワーキンググループ等で共有し、次期長野県循環器病対策推進計画にも反映していく。

循環器病の緩和ケア

現状認識等

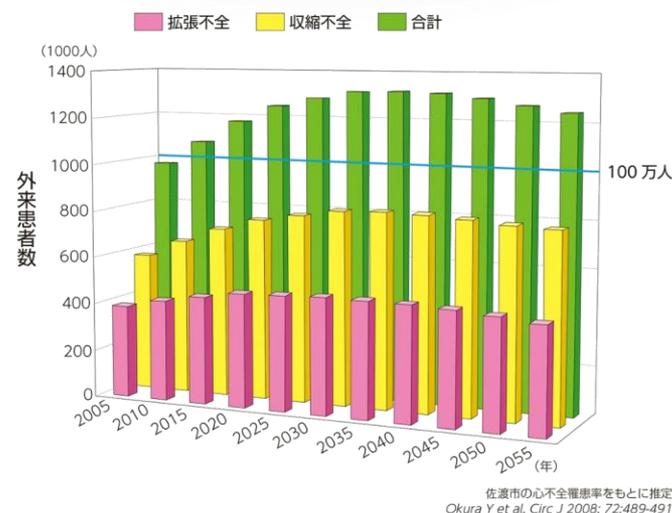
厚生労働省ワーキンググループ報告書

- 緩和ケアの対象となる主な循環器疾患として「**心不全**」を想定
- 緩和ケアニーズの認識と正確な概念は医療従事者等の中で十分に共有されていない
- 医療従事者等に対する**緩和ケアに関する研修や教育機会の場の提供が必要**

(一社) 日本循環器学会ガイドライン

- 医療従事者が緩和ケアニーズを評価できず、適切に提供されていない
- 緩和ケアチーム等の医療資源を十分に活用できていない

- 心不全罹患数は全国で約120万人。
- 2030年には、130万人に達する推計。
※がん罹患患者数は約100万人



図：公益社団法人日本心臓財団ホームページより

循環器病の緩和ケアセミナー（企画中）

【開催時期】

2023年4月以降

【対象】

循環器診療に従事する者、その他参加を希望する医療従事者等

まずは、心不全の緩和ケアについて知ってもらうことから

循環器病に特化した予防対策の推進

健康福祉部
重点施策

- 循環器病予防普及啓発事業
 - 循環器病予防に資する測定機器を市町村へ貸与し、健康無関心層をターゲットとした体験型普及啓発活動を支援
- 信州ACEプロジェクトの推進
 - 年齢層に応じた減塩対策・食産業との連携、健診受診の普及啓発強化 等

国庫補助メニューを活用した対策の推進

- 循環器病対策推進事業
 - ハートの日（8月10日）、世界脳卒中デー（10月29日）における疾患啓発
 - 医療従事者を対象とした研修会等の開催による人材育成
 - 実態調査の結果を踏まえた、地域医療・介護連携を支援する取組
 - 緩和ケア、治療と仕事の両立支援に関する取組
 - 長野県循環器病対策推進協議会の開催

<国庫補助メニュー>

都道府県向けの補助金（補助率1/2）により、地域施策の支援を行う。					
疾患対策の企画・検討等を行う会議体の運営 	医療従事者を対象とした研修の開催等による人材育成 	普及啓発資材の開発、市民公開講座の実施 	循環器病に関する治療と仕事の両立支援の取組を地域医療を担う施設で実施 復職 	循環器病に関する相談窓口の設置・運営 	循環器病の医療・福祉に携わる職種による多職種連携体制の構築 

その他関係課における取組を推進

- 事務局において関連事業を取りまとめ、進捗状況を把握していく。

長野県循環器病対策推進協議会としての取組

現状・懸念

- 疾病毎・分野毎に様々な課題を報告いただいております、多様な取組が必要とされている
- 事務局での検討だけでは、実施事業に偏りが出てしまう可能性がある
- 協議会以外に、委員・団体間で協力する機会がない

【ご提案】

協議会としての取組を実施しては。

【取組例】

- 啓発資材の作成・配布
- 市民公開講座・医療従事者向けセミナーの開催
- 各団体における既存事業への協力 等

【期待すること】

- 幅広い分野・テーマで事業を検討できる（各分野の課題解決に少しずつ着手できるのでは。）
- 各団体が主体性をもって長野県循環器病対策推進計画を推進できる
- 関係機関間の連携強化、事業普及効果の拡大

【取組の決定】 ※令和5年度は、緩和ケアセミナー

協議会で各団体よりご提案

事務局にて整理・意見照会

決定・実施